

言語:
英語・日本語

(両言語対応同時通訳有り)

主催:
立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構
「オール立命館による学際統合型平和研究拠点」

共催:
文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
「国際社会における紛争解決と葛藤解消に向けた学際
統合型平和研究」
立命館大学国際地域研究所
立命館大学大学院国際関係研究科

参加費無料



日程:
2016年10月29日(土)・30日(日)

会場:
立命館大学 衣笠キャンパス
創思館 カンファレンスルーム

アジアにおける平和構築の取り組み

ーアジア的平和構築モデルはあるのか

西洋的価値や制度に基づく平和構築活動が、紛争後の社会と乖離があることが指摘されるようになって久しい。本シンポジウムは、アジアの紛争に焦点をあて、同地域でどのような平和構築政策が必要とされたのかを議論する。そして、新たに平和構築活動に参入した日本や中国、韓国の経験を検討し、西洋的な平和構築モデルではない、アジア的平和構築モデルの可能性を模索する。



UNHCR/K.L. Eleazar



Louise Stoddard/UNDP

10月29日(土)

13:20~15:25

基調講演

田中 明彦

(東京大学東洋文化研究所教授、国際協力機構(JICA)前理事長)

ラメシュ・タクール

(オーストラリア国立大学教授、元国連大学上級副学長)

総合司会: 石原 直紀 (立命館大学教授)

15:40~17:20

セッション① 東南アジアの紛争と平和構築

司会: 本名 純 (立命館大学教授)

パネリスト: マウン・アウン・ミョー (国際大学教授)

イクラルル・ヌサ・バクティ

(インドネシア科学院教授)

サルマ・ラスル

(フィリピン・イスラム民主主義センター所長)

討論者: 石川 幸子 (国際協力機構国際協力専門員)

10月30日(日)

10:00~11:40

セッション② アジアン・ドナーの平和構築政策

司会: クロス 京子 (立命館大学准教授)

パネリスト: ペン・エ・ラン (シンガポール国立大学上級研究員)

金 聖哲 (ソウル大学統一平和研究院教授)

廣野 美和 (立命館大学准教授)

討論者: 上杉 勇司 (早稲田大学教授)

14:00~15:40

セッション③ アジアの外から見たアジアの平和構築

司会: 足立 研幾 (立命館大学教授)

パネリスト: オリヴァー・ユタソンケ

(ジュネーブ高等国際・開発研究院 紛争・開発・平和構築センター研究主任)

ポール・エヴァンス (ブリティッシュ・コロンビア大学教授)

オリヴァー・リッチモンド (マンチェスター大学教授)

討論者: 東 大作 (上智大学准教授)

閉会挨拶 吉田 美喜夫

(立命館大学長、立命館グローバル・イノベーション研究機構 機構長)

[問い合わせ先] towards.new.peace.studies@gmail.com